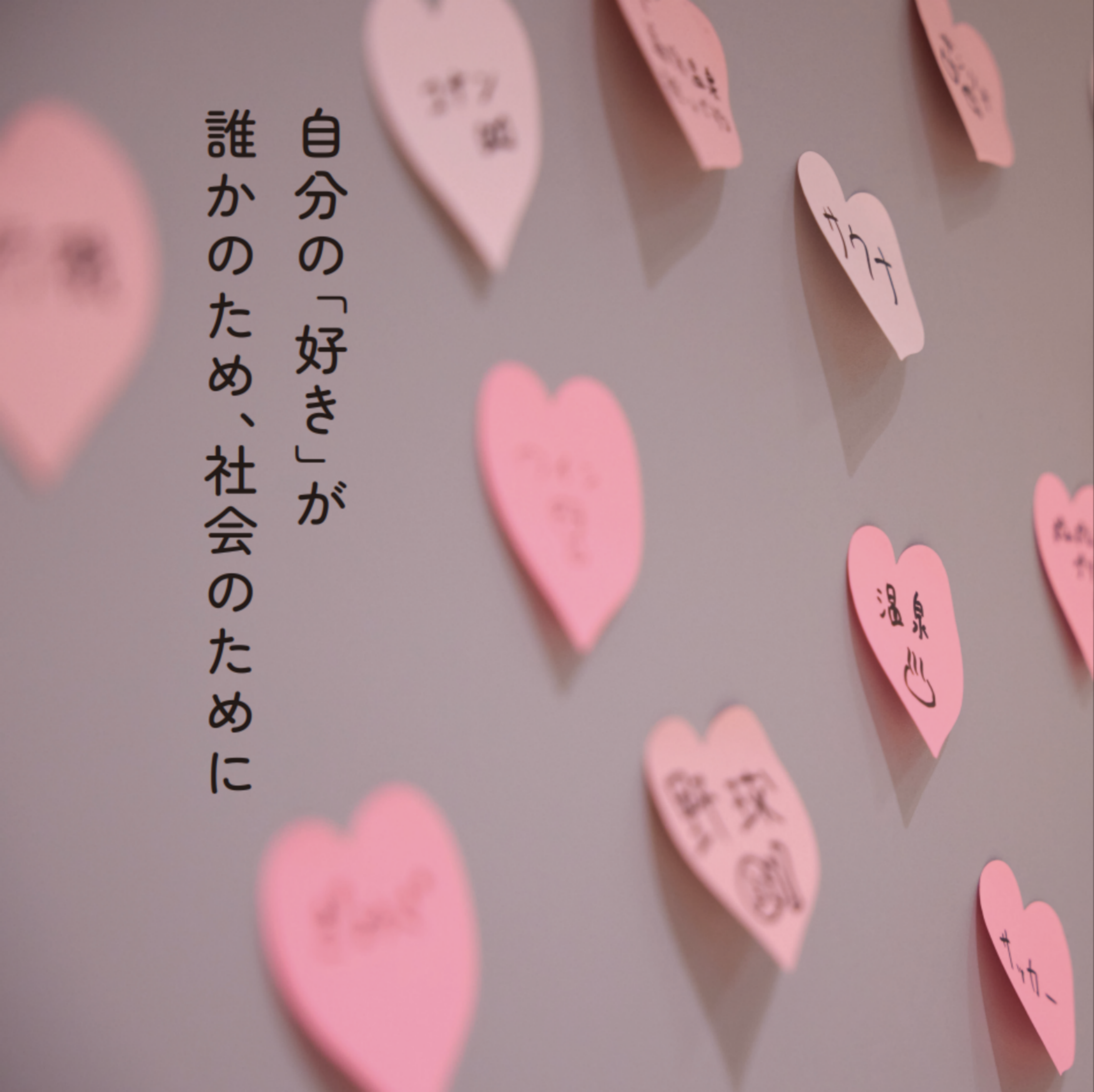
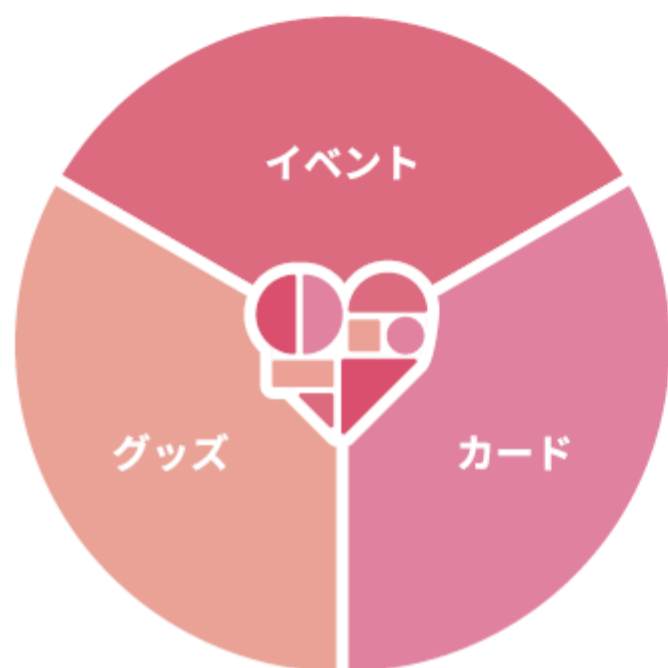


自分の「好き」が
誰かのため、社会のために



「好き」を応援する ビジネスモデル

イベント・グッズ・カードの一体型ユニット



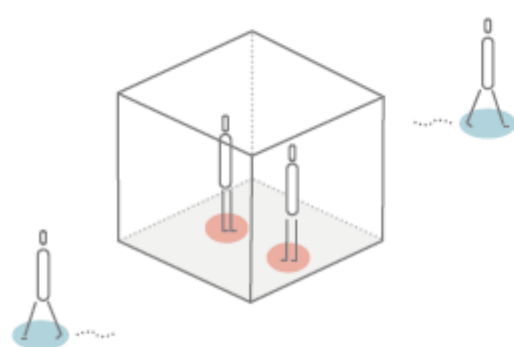
「好き」を応援するビジネスのプラットフォームとなるのが、イベント・グッズ・カードの一体型ユニットです。私たちがこれまで培ってきた、自主編集売場やプライベートブランドでの企画・製造などの小売事業のノウハウを活かし、イベントではお客さまの「好き」に寄り添った満足度の高い体験と、お客さまのニーズに合ったグッズを提供します。同時に、アニメ、スポーツ、アーティストなどお客さまの多様な「好き」にお応えする「好き」を応援するカードと連動することで、マルチ店舗のない商圈のお客さまとの接点も増やし、カード会員の拡大を推進していきます。

「好き」を活かした事業開発

今後は、さらなる事業化に向けて、さまざまな雇用形態-中途採用、業務委託契約、副業、長期インターンシップ-などを通じたプロジェクト型の働き方を拡大していきます。

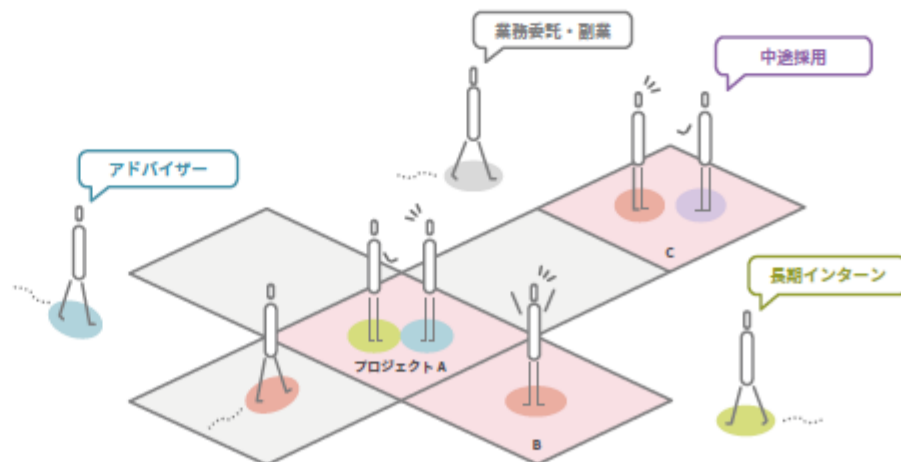
会社を、従来のような社内と社外を分ける「箱」ではなく、出入り自由な「場」とし、そこにさまざまな人たちが自分の「好き」と得意技を持ち寄って参加する「共創の場」をつくり、丸井グループの強みと個人の「好き」を融合させることで、多様な「好き」を事業化してまいります。

これまで



社内外が分断された閉ざされた場

これから



誰でも自由に出入りできる開かれた場

「好き」を応援する ビジネスコンクール

2026年3月 ファイナルステージ開催！



参加者の「好き」を起点にしたビジネスアイデアを丸井グループが全面支援し、事業化をめざす取り組みです。一人ひとりが持つ多様な「好き」をさらに集めるため、3回目となる今回からは門戸を社外にも広げ、丸井グループ社員に加え、他企業の社員、学生、さらには海外在住者まで、合計245名・173件の事業案をご応募いただきました。

当日は選考を勝ち抜いた10チームが「哲学」「クラゲ」「輪島塗」など幅広い「好き」の想いから生まれるビジネスアイデアを提案。宇宙の魅力を世の中に届け、宇宙ファンを増やしたいという想いを背景に、イベントの開催やグッズ販売、利用金額の一部が宇宙関連産業の支援につながるビジネスを提案した、「宇宙」をテーマにしたチームが最優秀賞・オーディエンス賞を受賞しました。

受賞チームは、今後、丸井グループが全面協力で事業化をめざします。



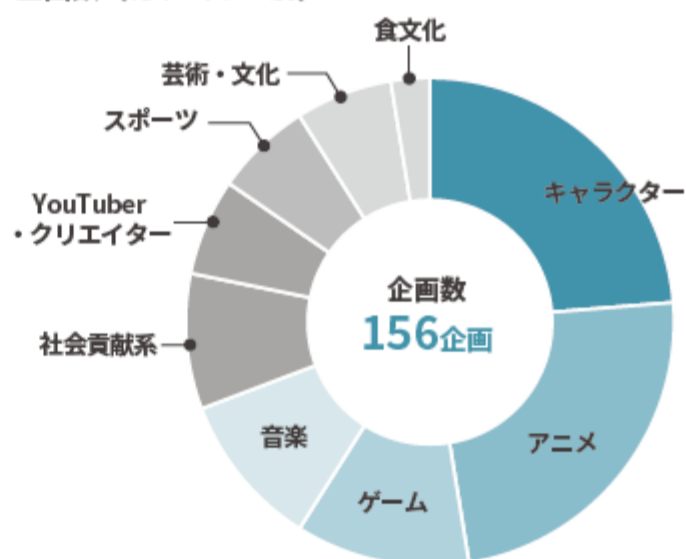
「好き」を応援する ビジネス①

「好き」を応援するカード

「好き」を応援するカードは、2026年3月末で、156企画、カード会員が138万人まで拡大しています。

初めてのクレジットカードとしてご入会していただく比率が高く、メインカードとしてご利用いただく方が多いことから、通常のエポスカードよりもLTV（生涯利益）が2～7倍高くなっています。

企画数（カテゴリー別）

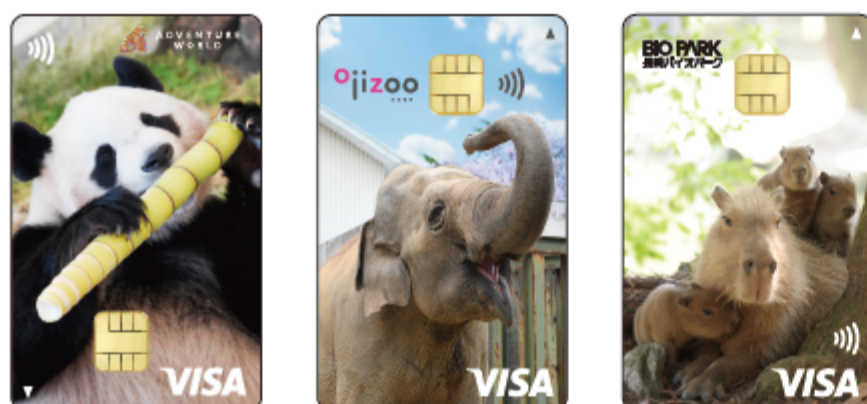


カード事例

「2026年3月にデビューしたどうぶつエポスカード」は、お買い物のご利用金額に応じた加算ポイント（200円につき1ポイント・還元率0.5%）から、0.1%分を動物たちの「お食事代」として届けるカードです。

寄付金は（株）OHANAにお渡しし、「規格外」などの理由で流通に乗らない農産物をアドベンチャーワールド・神戸市立王子動物園・長崎バイオパークの各園に「どうぶつのお食事」として提供する活動に活用されます。

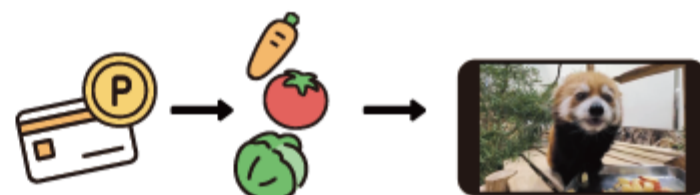
どうぶつエポスカード



応援の流れ

ご利用額の0.1%分のポイントを活用し、（株）OHANAが美味しく食べられる規格外の野菜や果物などを各動物園に届けます。

届いた野菜や果物などを動物たちが食べる様子がエポスアプリに届きます。



「好き」を応援するカードの中でも寄付付きカードは、共感の声が多いことが特徴です。クレジットカードご利用額に応じて付与されるポイントの一部を自動的に寄付できる仕組みを導入しており、教育、医療、災害支援、環境保護など、幅広い分野の団体が寄付対象となっています。「好き」を入り口にする企画を増やしていくことで、誰かのため、社会のためへと広がる消費を拡大し、社会的インパクトと利益の両立をめざします。

オリックス・バファローズ



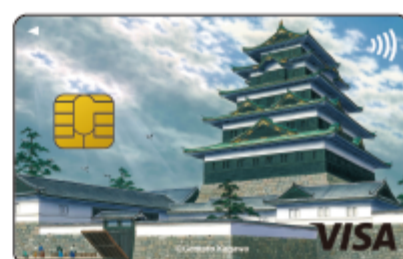
未来ある選手たちをサポートするための資金に活用

COTEN



人文知の架け橋となる運営に活用

城巡り



全国の城郭の保全・維持活動などに活用

「好き」を応援する ビジネス②

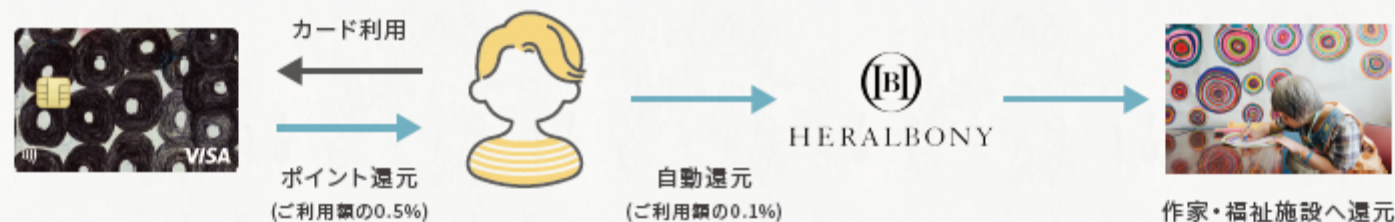
「使うたび、社会を前進させる」ヘラルボニーカード

ヘラルボニーカードは、障がいのあるアーティストが描いたアートを券面デザインとして起用し、現在16種類を発行しています。作家の感性豊かな表現がクレジットカードとして日常の中へと広がり、お客さまのご利用を通じて価値が生まれるこの仕組みは、丸井グループが掲げるビジョン「インパクトと利益の二項対立を乗り越える」を体現する取り組みです。

2026年2月からは、国立大学法人 岩手大学を含む3者での共創により「岩手大学ヘラルボニーカード」の発行を開始いたしました。大学とのクレジットカードの共創は、丸井グループにとって初の取り組みとなります。



〈ヘラルボニーカードの応援の仕組み〉



お買物でのご利用金額に応じた加算ポイントのうち、0.1%分がヘラルボニーを通してカード券面のアートを描いた作家、作家が在籍する福祉施設およびヘラルボニーギャラリーなどの運営に活用されます。



2026年6月現在、国内6エリア・海外1か国で、合計16券面まで拡大しました

「好き」を応援する ビジネス③

「好き」を応援するイベント・グッズ

アニメなどのコンテンツやアート・スポーツなどを含めた一人ひとりのかけがえのない「好き」を応援するイベントは、1日当たりの新規カード入会数が一般のイベントに比べて高いという特徴があります。今後は、こうしたイベントの構成を高めるとともに、自主PBでのノウハウを活かし、自社企画グッズの制作販売を進めます。イベントだけでなく、当社ECサイトでの受注販売を行なうことで効率化を図り、収益拡大につなげます。

1日あたりのカード入会

16倍

一般イベント

「好き」を
応援するイベント

イベント事例

「好き」を応援するイベントでは、物品販売のみに限らず展示など世界観を体験できるイベントなどを企画・実施しています。また、「ファイナルファンタジーIX」や人気アイドルグループ「Tresure」のイベントはカードの発行に合わせて実施することでカードのご入会やご利用の促進にもつながっています。



ファイナルファンタジーIX



Tresure



しずくちゃん

グッズ事例

自社企画グッズでは、これまでのPBで培ってきたノウハウを活かし、自社グッズの企画、製作を進めています。グッズの企画においては、ファンである社員の「好き」を活かすことで、ファン心理を反映したグッズを製作することができています。



xxxHOLiC

世界観を大切にしたグッズ



気になってる人が男じゃなかった

丸井グループ初 海外でのイベント開催

丸井グループの 今、そしてこれから

仲間と共に、丸井グループが描く 「好き」から始まる未来

丸井グループは、創業100周年の2031年に向け「『好き』が駆動する経済」という経営ビジョンを掲げ、ビジョン実現に向けた「好き」を応援するビジネスを推進しています。

そんな丸井グループの「現在」の取り組みをまとめた本冊子では、「好き」を応援するビジネスコンクールや社員の「好き」から生まれた事例を中心に、「好き」がビジネスになるまでのストーリーと「好き」を応援するビジネスの先に描く未来をCEOの青井が語っています。

「今」の積み重ねの少し先にある「あした」を、仲間と共に形づくっていきたい。そんな想いで作成した冊子です。



過去から未来まで時間を超えて丸井グループが 「たいせつ」にしている想いを語る



1931年の創業以来、小売と金融を融合させた独自のビジネスを進化させてきた丸井グループ。そんな私たちには、変わらずに「たいせつ」にしていることがあります。

過去から現在、そして未来まで一貫通貫した、私たちが「たいせつ」にしている想いを伝えたいと、CEOの青井を含めた当社グループと、本冊子の企画・制作を担当してくださった「WIRED」日本版の元編集長・若林恵さん率いるコンテンツレーベル黒鳥社さまで半年にわたって対話を行い、当社の想いを具現化していただきました。社史のようで社史ではない、会社の歴史と未来を語る、これまでにない冊子です。

株主さまイベントを 開催しました

【 HERALBONY CARD THANKS DAY 2026 】



エポスカード取締役社長相田、
ヘラルボニーCo-CEO 松田崇弥さん、作家の森啓輔さん、
NPO法人希望の園 施設長の村林真哉さんとのトークセッション



ヘラルボニー契約作家の森啓輔さんによる
油絵のライブイベント

2026年2月に丸井グループ本社にて、「HERALBONY CARD THANKS DAY 2026」を開催しました。
丸井グループの株主さまとヘラルボニーカード会員さまを対象に参加者を募集し、当日は約100名にご参加いただきました。

【参加者の声】

開放的でとてもすばらしい空間でした！作家の方と直接触れ合えたことがとてもうれしかったです！
今回のように、親子で体験できるイベントがもっとあるとうれしいので、ぜひご検討ください。



【 株主さまミーティング@有楽町マルイ 】



有楽町マルイ店長から
店コンセプトなどご説明



店内見学



「シナぶしゅ」担当者による
開発秘話トークセッション




株主さま同士で座談会

2026年3月に有楽町マルイにて株主さま向けイベントを開催しました。
本イベントは、丸井グループの成長戦略である「『好き』を応援するビジネス」について、実際の売場や社員の声を通して体
感していただくことを目的に実施しました。合計約40名の株主さまにご参加いただきました。

【参加者の声】

自分の投資方針に迷いを感じる事が多いので、社員さんとの対話や株主同士の交流はとても有意義
でした。



お持ちのエポスカードに株主番号をご登録いただくことで
株主さま限定情報をメールでお届けします 

EPOS

株主番号の初回ご登録で/

1,000円分の
エポスポイントプレゼント!

エポスカードをまだお持ちでない
株主さまはぜひお申し込み
ください!



入会金・年会費
永年無料

日本初の本格的な 木造商業施設誕生へ

渋谷マルイが生まれ変わります

国内初のサステナブルな木造商業施設として生まれ変わる渋谷マルイ。

渋谷マルイは全体の約60%に木を用いる、本格的な木造建築をめざしています。「中高層の木造商業施設」は世界的にみても前例がほとんどありません。オープンは2027年度の予定です。



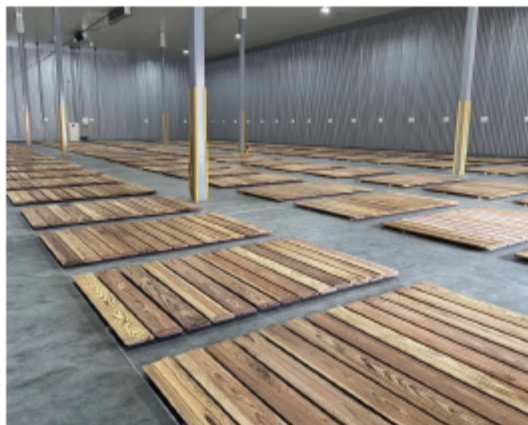
完成イメージ

単なる木造建築にとどまらない 木材に対するこだわり

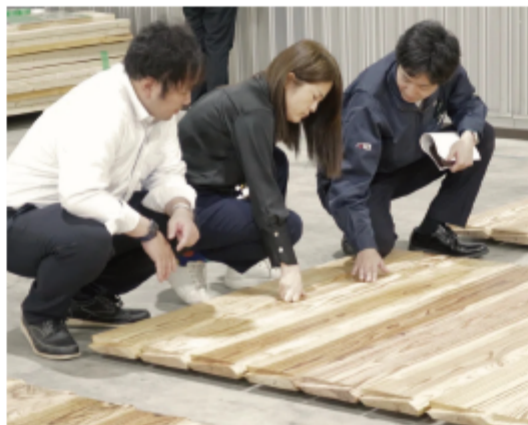
現在、建築中の渋谷マルイ。

木造の商業施設ということで、外観で使用する木材は、1300枚。ただし、この木材の一枚一枚は、色合いだけでなく加工時にできたちょっとしたシミや、節、ひび割れなど1枚として同じものはありません。

天然木ならではの自然な風合いを大事にしつつ、実際に外装に並べる位置を確認し、それぞれの色味や風合いを見て並び順の入れ替え作業を行うなど、こだわりが詰まったものになります。



1枚1枚違う木材



1枚ずつ目視でもチェック



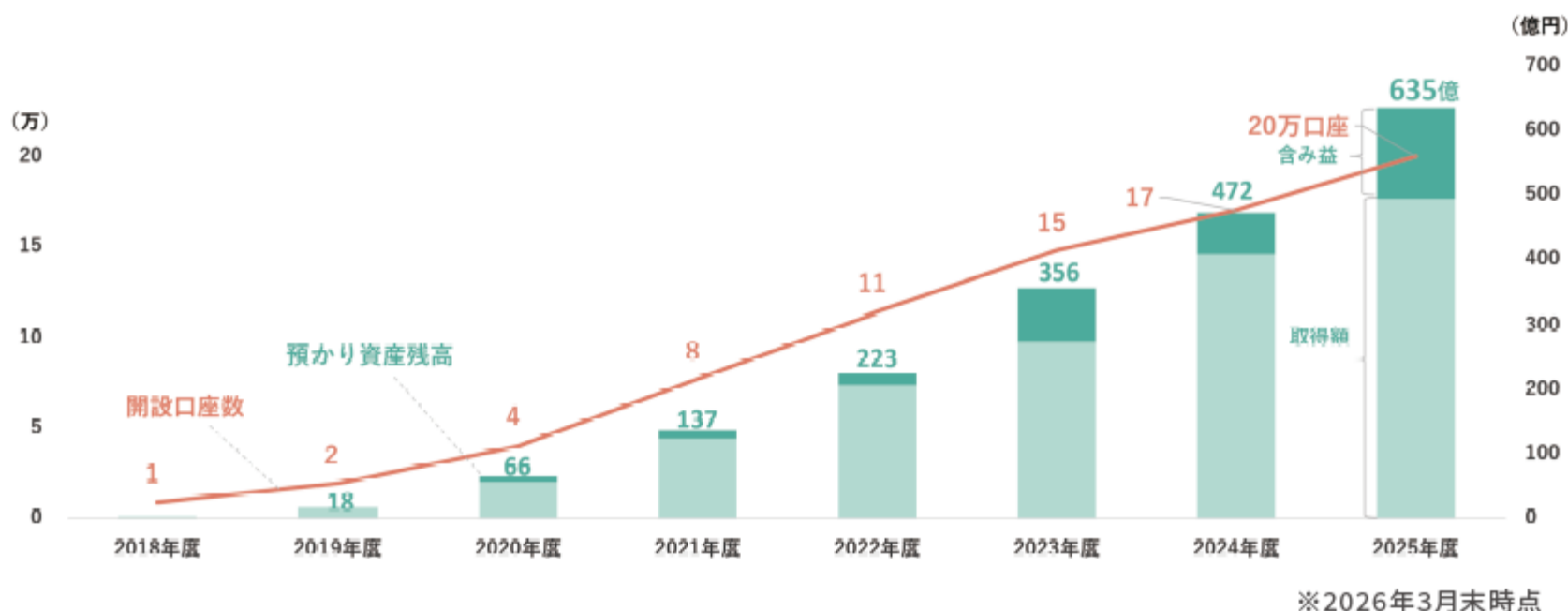
最も美しい見栄えにこだわり
最適な並べ方を何度も検討

つみたて投資の tsumiki(つみき) 証券

エポスカードの資産形成サービスで お客さまの豊かな人生を応援

tsumiki証券は、将来の「お金」に対する不安を、長期の資産形成サービスによって支えたいという思いから2018年にスタートしました。

月100円から始められる少額投資と、商品数や情報をあえて絞ったシンプルな設計をご支持いただき、開設口座数は20万口座、預かり資産残高は635億円まで成長しています。



エポスカードの日常のご利用に、tsumiki証券での資産形成が加わることで、お金を使うだけでなく、コツコツ・ゆっくりふやすことができます。その結果、将来のお金への不安がやわらぎ、趣味などご自身の「好き」を大切にさせていただけると考えております。

こうした積み重ねが好循環を生み、「好き」を楽しみ続けられる暮らしへとつながっていきます。



※当社が取り扱う商品は、信託報酬等の手数料がかかります。

※投資信託は価格の変動等により投資した金額が減るおそれがあります。詳しくは各商品の目論見書・目論見書補完書面（当社ウェブサイトにあります）をお読みの上、お客さまご自身でご判断ください。

tsumiki証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3071号

加入協会：日本証券業協会

<https://www.tsumiki-sec.com>